

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスマナーⅣ		TCR203
講義名（コード）	TCR_ビジネスマナーⅣ_B		TCR203B
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	片瀬 順子	時間数	30
成績評価教員	片瀬 順子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	・専門力における、サービス分野の学びの中で、学生がホスピタリティの基本を理解しビジネス実務マナー知識の習得、及び演習を通してビジネス社会の基本ルール（職場常識）を理解できるようになる。
全体の内容と概要	・ビジネスマナーにおける基本的な知識を学び、ビジネスマナーにおける実践力、社会人としてのマナーを身につける。ビジネス実務の遂行に必要な一般知識の習得、業務遂行を行うのに必要な技能の取得。 ・自己の考えを表現する力や、他者とのコミュニケーション能力を育てる。
授業時間外の学修	・授業開始までに、必ず一読してくること。 ・復習課題としてレポートの提出を求めています。
履修上の注意事項等	・マナーの授業であると心得、授業中の態度、及び言葉遣い等に気をつけること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	・後期オリエンテーション	・後期オリエンテーション・授業の受け方 ・予習復習への取組等について
2	・社内のマナーを理解する①	・話を聞くととき◆P80～・指示を受けるとき◆P84～ ・注意を受けるとき◆P88～
3	・社外のマナーを理解する②	・場所ごとの席次◆P122～ ・案内と見送り◆P126～
4	・社外のマナーを理解する③	・お茶の出し方、いただき方◆P130～
5	・社外のマナーを理解する④	・営業活動・派遣、出向◆P138～
6	・ビジネスのルールを理解する ③	・情報管理◆P70～
7	・ビジネスのルールを理解する ④	・ハラスメント◆P74～
8	・社内のマナーを理解する②	・退社時のマナー◆P92～ ・葬儀のマナー◆P96～
9	・社内のマナーを理解する③	・贈答のマナー◆P100～
10	・社内のマナーを理解する④	・食事のマナー◆P104～
11	・社内のマナーを理解する⑤	・お酒の席のマナー◆P108～
12	・ビジネスコミュニケーション を理解する④	・同僚との付き合い方◆P20～ ・就業時間外の付き合い方◆P24～
13	・後期1～12までの纏めを確認	・後期1～12までの纏め及び、後期期末試験のプレテスト
14	・後期期末試験	・後期期末試験実施
15	・後期期末試験についてFB	・後期の総括 後末試のフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	・ISBN：9784820727767 書籍名／出版社：留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール／日本能率協会マネジメントセンター
参考文献・資料等	・社会人常識マナー検定JapanBasic
備考	・授業内にロールプレイング、演習を実施する。